

度重なるコスト増に価格転嫁追いつかず

人流は回復も物価高の影響により消費マインドは低下

～景況 DI 値は、前年同月比2.7ポイント上昇のマイナス7.8～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 6月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比15.8ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比21.0ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス42.1。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比15.8ポイント低下のプラス10.5。非製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のプラス5.3、前年同月比10.4ポイント上昇のプラス47.3。

収益状況 製造業では、DI 値前月比15.7ポイント低下のマイナス31.5、前年同月比同水準のマイナス47.3。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス26.3。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス31.6。非製造業では、前月比15.8ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比10.6ポイント上昇のプラスマイナス0。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比21.0ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比同水準のマイナス10.5。

景況 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス36.8、前年同月比同水準のマイナス42.1。非製造業では、前月比5.2ポイント低下のプラス10.6、前年同月比5.2ポイント上昇のプラス26.3。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比2.6ポイント低下のマイナス13.2、前年同月比2.7ポイント上昇のマイナス7.8となった。製造業では、依然として多くの業種で原材料価格の高止まりが続くほか、度重なるコスト増に価格転嫁が追いついておらず、横ばいに留まった。非製造業では、観光産業を中心に全国旅行支援終了に伴う駆け込み需要が見受けられ、前年同月比で業況は好調を維持した。県内景況は、人流がコロナ禍以前並みに回復しつつあるものの、物価高の影響により小売価格が上昇したことで消費マインドの低下が継続している。業種を問わず電気代や副資材、消耗品等諸経費の値上げによる経費負担の増加が続いており、収益に大きく影響している。また、物価の上昇が進む一方で、人手不足の深刻化、最低賃金上昇による人件費増加などさらなる経費負担増加の要因もあり、依然として先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

6月の全国倒産は、件数782件で、前年同月を43.8%上回り、14ヵ月連続で前年同月比増加となった。負債総額は1,232億800万円（負債総額1,000万円以上）で、6月としては2020年以来3年ぶりに700件を超えた。また、前月に比べると88件増え、3ヵ月連続で増加した。

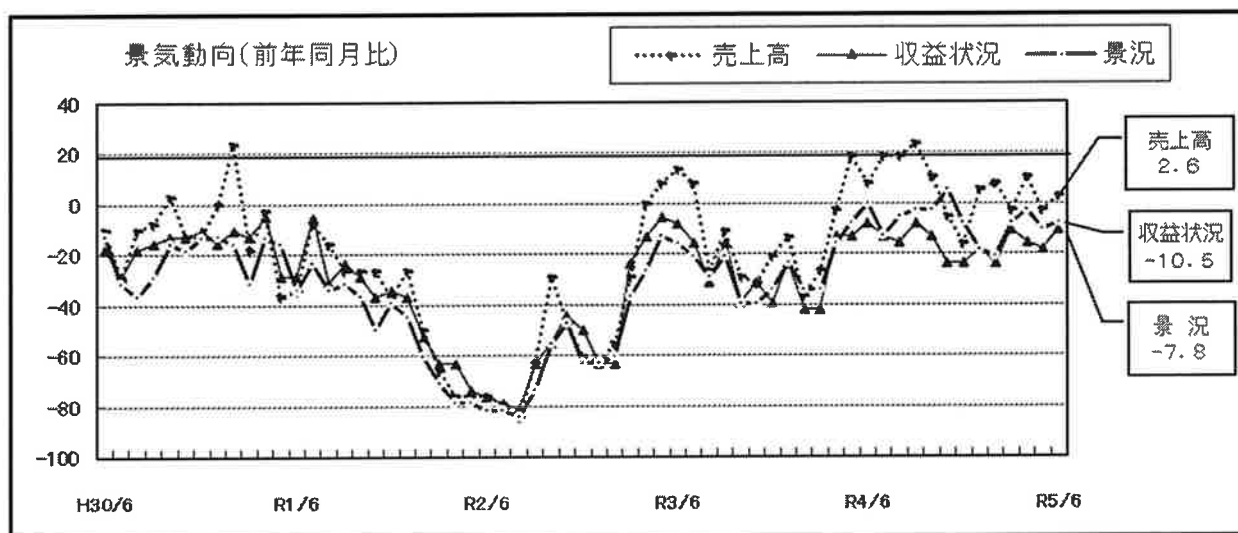
一方、6月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件（前月1件）、負債総額は2,900億円（前月5億円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報5月分」）

鳥取県の5月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.44倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.31倍）で、前月より0.05ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.16倍、米子所1.43倍、倉吉所1.55倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.47倍（季節調整値）で、前月より0.08ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比5.6%減少し、有効求人数は1.4%増加となった。産業別に前年同月と比較すると、運輸業・郵便業（63.6%）、公務・その他（8.2%）、医療・福祉（1.3%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比0.9%増加、有効求職者数は前年同月比0.7%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.19倍で、前年同月を0.03ポイント下回った。新規求人数は前年同月に比べ12.6%減少した。



6月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	21.1%	21.1%	0.0 15.8	26.3%	42.1%	-15.8 -21.0	23.7%	31.6%	-7.9 -2.6
(2) 在庫数量	15.8%	5.3%	10.5 0.0	8.3%	8.3%	0.0 0.0	12.9%	6.5%	6.4 -0.1
(3) 販売価格	10.5%	15.8%	-5.3 -5.3	15.8%	10.5%	5.3 -5.3	13.2%	13.2%	0.0 -5.3
(4) 取引条件	10.5%	10.5%	0.0 0.0	0.0%	0.0%	0.0 0.0	5.3%	5.3%	0.0 0.0
(5) 収益状況	5.3%	36.8%	-31.5 -15.7	15.8%	31.6%	-15.8 -5.3	10.5%	34.2%	-23.7 -10.5
(6) 資金繰り	0.0%	15.8%	-15.8 -5.3	0.0%	15.8%	-15.8 -15.8	0.0%	15.8%	-15.8 -10.6
(7) 設備操業度	5.3%	15.8%	-10.5 0.0						
(8) 雇用人員	5.3%	5.3%	0.0 5.3	0.0%	10.5%	-10.5 -21.0	2.6%	7.9%	-5.3 -8.0
(9) 景 況	0.0%	36.8%	-36.8 0.0	21.1%	10.5%	10.6 -5.2	10.5%	23.7%	-13.2 -2.6

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	52.6%	-36.8 -5.2	52.6%	10.5%	42.1 15.8	34.2%	31.6%	2.6 5.2
(2) 在庫数量	5.3%	15.8%	-10.5 -5.2	16.7%	8.3%	8.4 0.0	9.7%	12.9%	-3.2 -3.2
(3) 販売価格	31.6%	21.1%	10.5 -15.8	52.6%	5.3%	47.3 10.4	42.1%	13.2%	28.9 -2.6
(4) 取引条件	5.3%	26.3%	-21.0 -15.8	0.0%	21.1%	-21.1 -5.3	2.6%	23.7%	-21.1 -10.6
(5) 収益状況	5.3%	52.6%	-47.3 0.0	42.1%	15.8%	26.3 15.8	23.7%	34.2%	-10.5 7.9
(6) 資金繰り	10.5%	42.1%	-31.6 10.5	10.5%	10.5%	0.0 10.6	10.5%	26.3%	-15.8 10.5
(7) 設備操業度	10.5%	42.1%	-31.6 -10.6						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 5.3	15.8%	26.3%	-10.5 0.0	7.9%	18.4%	-10.5 2.6
(9) 景 況	5.3%	47.4%	-42.1 0.0	36.8%	10.5%	26.3 5.2	21.1%	28.9%	-7.8 2.7

*D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 菓子製造業を中心に卵の急激な高騰により収益の悪化が続いている。総じて、円安等の影響により小麦粉やエネルギー（電気、LPG 等）価格の高騰、高止まりにより収益が圧迫され、厳しい業況が続いている。

醤 油⇒ 食料品の値上げにより消費マインドが低下しており、味噌・醤油の出荷量も回復には至っていない。円安にも関わらずこれまで好調であった輸出についても陰りが見られる。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 生産地が海外に再度移りつつあり、需要は一時期よりも落ち着いてきたが、国内工場は全般的に仕事量を確保できている。外国人技能実習生受入のサイクルが新型コロナの影響によって崩れたことで、熟練工が不足している。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため、売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 新型コロナが落ち着きを見せ、外国人技能実習生の入国が再開されている。円安の状況が続くものの、輸入製品数量は減少しておらず、国内メーカーとしての事業継続は厳しい状況が続いている。

【家具装備品】

⇒ 前月比、前年同月比ともに売上は減少、物価高により販売価格は上昇したが、それ以上に仕入価格や経費が上昇しており、収益状況は悪化した。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で減少した。合板の生産量も前月比で減少となった。季節的な要因で丸太の出材は減少しているが、引き合いは弱く、価格も引き続き弱含みとなっている。製材品の動きに活発さは感じられない。プレカット加工の稼働率は、前月比40%減少、前年同月比55%減少となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 3年以上にわたるコロナ禍の影響、世界情勢不安の影響等により、製紙原料の供給が不安定となることが懸念される。入手困難な原材料もあり、現行通りの品質を維持することに苦慮している。

【印 刷】

⇒ 年度末、年度始め以降稼働の活発化が続いている。原材料、エネルギー価格の値上がりにより利益率が上がらず苦慮している。今後、電気料金の値上げが重なると業況は厳しさを増すことが予想される。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 6月の生コン出荷量は、前月比で約10%減少、前年同月比で3%増加となった。東部地区を中心に引き合いが極端に弱く、前年割れが続いている。セメント価格の値上げ、燃料費高騰が収益を圧迫しており、生コン価格への転嫁に苦慮している。こうしたなか若手人材の確保が課題となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、6月に入り仕事量が減り、価格も弱含みで厳しい状況が続き、先行きも不透明。県内は物件が少なく、県外物件を受注できている事業所は多忙となっているが、全国的な建築需要の停滞により、地方の中小企業の状況は厳しい。機械加工は、受注を確保できているものの、全体的に弱含みとなっている。工作機械・産業機械関係は受注が減少傾向となっており、自動車関係も年内の受注は厳しい状況となっている。

鉄骨加工⇒ 県内発注の物件量が公共・民間ともに少なく、県内の案件のみを対象としている企業は苦慮している。材料費の高騰をはじめ、溶材など副資材や電気代の上昇など、工場の負担は大きく収益に大きな影響が出ている。

金属熱処理⇒ 休暇の多かった先月と比較すると受注量は改善しているものの、回復には至っていない。受注量はコロナ禍以前と比較すると、今年度は昨年度よりもさらに受注が減少となっている。業況も低迷しており、回復の兆しが見られず苦慮している。引き続きエネルギー関係の高騰が続いており、収益を圧迫している。

【電気機械器具】

⇒ 部材の調達は安定してきたが、依然として人手不足が続いている。受注は先行き不透明になりつつある。賃上げ、電気代等の高騰による製造原価のアップ分を価格転嫁できる状況ではなく、利益確保は難しい。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、スイカ等の季節野菜の増加により、取扱数量は前月比で増加したが、前年同月比では減少した。売上高は、単価の低下と取扱数量が減ったことにより前月比、前年同月比ともに減少した。鮮魚関係では、取扱数量は前月比で減少、前年同月比で増加した。売上高は、前月比で減少したが、前年同月比では単価の上昇と取扱数量の増加により増加した。全体では、引き続き人材不足に苦慮する事業者が散見される。需要動向としては、県外出張等活動が活発となり復調の兆しが見られる。

中部地区⇒ 新年度より官公庁関係の案件、民間の設備投資は昨年よりも増え、徐々にコロナ禍前に戻ってきた印象を受ける。DX関係の需要が高まってきているほか、法整備が迫るインボイス制度や、電子帳簿保存法改正について対応の動きが本格化し始めており、それに伴う需要増の動きも散見される。

西部地区⇒ 新型コロナの5類移行を契機とした対面営業や展示会等が再開されつつある。一方6月からの食料品、消耗品等の値上げに加え、電気料金のさらなる値上げによる原価への影響が懸念される。

水産物⇒ 巻き網はサバ・イワシ・ウルメの混獲漁が続き、昨年を大きく上回る水揚げとなった。天然本マグロ漁も順調に漁獲され、特に月の前半は大型で脂の乗りも良く、高評価で全国に流通した。近海物は底引き漁も休漁期となり、今年もイカ類の水揚げも振るわず夏枯れ状態に突入した。漁期の最終月をむかえた紅ズワイガニは昨年の異常相場の反動も有り通年並みの相場で推移した。

リサイクル原料⇒ 価格動向については、前月比、前年同月比ともに低下となった。古紙や鉄

スクラップ、ペットボトル等資源価格は全般的に下落が進行している。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、新型コロナも落ち着きを見せ、街区の人流も一定程度回復したように見えるが、仕入価格の高騰は依然収益を圧迫している。今年度はしゃんしゃん祭り等の各種イベントも中心市街地にて再開される予定であり、本通商店街では4年ぶりとなる土曜夜市を7月22日から4週にわたり開催を予定している。各会議体や企業などの大規模な宴会も増えてきており、ホテルなど大宴会場を抱えているところは回復の兆しが見られる。お土産などの物販等は好調であるものの、それ以外の業種は依然として厳しい状況が続いている。生活におけるコストの上昇が心理的に与える影響が大きく、一段と消費意欲が減退している。ボーナスシーズンによる人流の増加、消費の活発化が望まれる。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、週末は少しずつ観光バスが入ってくるようになったものの、中部の温泉地に宿泊した観光客の足が街区まで延びてこない。個人客も少しずつ増えてきたが、白壁土蔵群周辺に限られるため商店街への集客を図ることが課題である。夏に向け計画している「土曜夜市」により街の活性化を目指す。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、6月は広場を使ったイベントは実施せず、サンロードマーケットは休止とした。広場を使ったイベントとして7月に土曜夜市の開催を予定している。

境港市の水産物小売では、大型連休から夏場にかけて閑散期となるが、インバウンドが徐々に回復傾向にあり、外国人観光客が増えつつある。今後も境港にクルーズ船の入港が増えるため、インバウンド需要に期待が持たれる。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、観光客の入込数は、中旬頃まで例年より増加傾向で推移した。以降は悪天候で観光客の入込数は大幅に落ち込んだ。売上高は前月比で減少、前年同月比で増加した。

米子市のホテル・旅館では、6月は年間でも低調な月であり、大型連休の反動減もあったことから、前月比では日帰り客数は増加したものの、宿泊客数が減少したため売上高は減少、販売単価も低下、収益状況も悪化した。前年同月比では、全国旅行支援の効果もあり、宿泊客数が増加したため売上高は増加、収益状況も好転した。業界全体では、コロナ禍の影響を脱しつつあるが、業界への支援が終了すれば、厳しい状況が予測される。

三朝温泉では、6月は旅行支援終了も迫り、駆け込み需要が見られた。収益状況は回復傾向にあるが、支援終了後の落ち込みが懸念される。人手不足解消のため、派遣会社の活用やインターンシップの募集等行っているものの、引き続き人材確保に苦慮している。

羽合温泉では、個人旅行は全国旅行支援の駆け込み需要も後押しとなり、前月並みを維持した。団体旅行については、修学旅行がコロナ禍前の状況まで戻り、好調であった。業況はコロナ禍以前と比べ、9割5分程度まで回復している。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を合わせて2,273台で前月比が約2

7%増加、前年同月比は約14%の増加となった。中古車は733台で前月比約17%増加、前年同月比は約16%増加し、新車、中古車ともに対前月、対前年で大幅増となった。継続検査（軽自動車を含む）は16,278台となり前月比で約12%増加、前年同月比は約1%増加し、対前月は大幅増となったが、対前年は横ばい状態となった。全体として需要の動きは改善傾向にある。

【建設業】

⇒ 5月の県内公共工事発注（西日本建設業保証(株)保証取扱）は、請負金額46億円（前年同月比同水準）、件数96件（前年同月比11.1%減）となった。住宅投資は、3ヵ月平均でマイナスも、単月は大幅な前年同月比プラスとなった。設備投資は単月、3ヵ月平均ともに前月比プラスが続く。公共投資は単月で前年並み、年度累計はプラスを維持。建設資材やエネルギー価格の高騰が継続し、人手不足に苦慮しているものの、人材不足や2024年問題への対応に向けた動きも出始めている。

5月の鳥取県新設住宅着工戸数は256戸（持家155戸、貸家101戸）で、前月比15%増加、前年同月比44%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 6月の物流は、製造業等の生産調整などが続き出荷量は概ね横ばいで推移し、農作物も例年に比べ減少し、全体として低調な動きとなっている。復路荷物の情報量も慢性的な荷物不足から空車での運行も多くなり厳しい状況が続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに減少した。燃料価格の高値が続き厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 6月の燃料価格については、燃料油価格激変緩和補助金が6月より段階的縮小となったため大幅に上昇した。荷主に対しての運賃価格交渉については、値上げしていただく企業とそうでない企業とのバラつきが見られている。運送稼働状況は大型連休以降急激に鈍化したものの、若干持ち直しの兆しが見られた。地場農産品については好天に恵まれ、ほぼ順調推移。7月以降の出荷シーズンに向け期待をしている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・過去に例を見ないほど新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・電力費の負担に対する十分な補助を求める。【金属熱処理業】
- ・インボイス導入制度に関し、さらなる猶予期間を設け、現場の混乱の緩和をしてもらいたい。【卸売業】
- ・飲食に限らず業種に偏りのない需要喚起策を望む。事業者の高齢化に対する事業承継等の支援を望む。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】
- ・ここ数年の景況悪化も多大であり、全国旅行支援も終了となるため引き続き支援策を打ち出してほしい。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との 増減幅
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
売 上 高	製 造 業	0.0	10.5	-21.0	21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-31.5	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	0.0	0.0
	非製造業	10.5	0.0	0.0	-5.3	15.7	26.3	-10.5	-36.9	31.6	57.9	-57.9	5.2	-15.8	-26.3
	全 業 種	5.3	5.2	-10.5	7.9	2.6	5.3	-10.5	-34.2	10.5	28.9	-34.2	-5.3	-7.9	-13.2
在庫数量	製 造 業	15.8	21.1	5.2	5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.2	0.0	0.0	5.3	10.5	10.5	-5.3
	非製造業	8.4	0.0	-8.3	-8.4	8.4	8.4	8.3	8.4	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	-8.4
	全 業 種	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0	-3.2	-3.2	6.4	3.2	6.7	3.2	6.5	6.4	-6.5
販売価格	製 造 業	15.8	26.3	26.3	21.1	21.1	26.3	26.3	21.0	21.1	0.0	5.3	0.0	-5.3	-21.1
	非製造業	26.3	36.8	26.3	5.3	31.5	42.1	26.3	10.6	15.8	15.8	-10.6	10.6	5.3	-21.0
	全 業 種	21.1	31.6	26.3	13.2	26.3	34.2	26.3	15.8	18.4	7.9	-2.6	5.3	0.0	-21.1
取引条件	製 造 業	-5.2	5.2	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	5.2
	非製造業	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	0.0	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
	全 業 種	-5.3	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-7.9	-5.3	-5.3	-7.9	0.0	-2.6	0.0	0.0	5.3
収益状況	製 造 業	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-26.3	-36.8	-26.3	-31.6	-31.6	-5.2	-26.3	-15.8	-31.5	-15.7
	非製造業	-15.7	-15.8	-5.2	-15.8	10.5	15.8	-5.3	-31.5	0.0	21.1	-42.1	-10.5	-15.8	-0.1
	全 業 種	-15.8	-15.8	-15.8	-15.7	-7.9	-10.5	-15.8	-31.6	-15.8	7.9	-34.2	-13.2	-23.7	-7.9
資金繰り	製 造 業	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.2	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-5.3
	非製造業	-15.8	0.0	0.0	-21.1	10.5	15.8	-15.8	-15.8	0.0	10.5	-26.3	0.0	-15.8	0.0
	全 業 種	-13.2	-5.3	-5.2	-15.8	2.6	2.6	-10.5	-10.6	-10.5	0.0	-21.1	-5.2	-15.8	-2.6
設備操業度	製 造 業	5.3	5.3	-10.6	0.0	-10.6	10.5	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-15.8
雇用人員	製 造 業	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	5.3
	非製造業	0.0	0.0	15.8	-5.3	5.3	0.0	-5.3	-15.8	-5.3	0.0	5.3	10.5	-10.5	-10.5
	全 業 種	-2.7	-2.6	7.9	-2.6	-2.6	0.0	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	2.7	2.7	-5.3	-2.6
景 況	製 造 業	-15.8	-10.5	-1.5	-26.3	-36.8	-31.5	-26.3	-36.8	-42.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-21.0
	非製造業	-15.8	-21.1	5.2	-26.3	0.0	15.8	0.0	-31.5	5.3	21.1	-15.8	15.8	10.6	26.4
	全 業 種	-15.8	-15.7	-2.6	-26.3	-18.4	-7.9	-13.2	-34.2	-18.4	-2.6	-23.6	-10.6	-13.2	2.6

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との増減幅
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
売 上 高	製 造 業	-10.5	5.3	5.3	0.0	-5.3	-10.5	-36.8	-26.3	-15.8	-36.8	-31.6	-31.6	-36.8	-26.3
	非製造業	26.3	31.6	31.5	47.4	26.4	0.0	5.3	36.9	31.6	31.6	52.6	26.3	42.1	15.8
	全 業 種	7.9	18.4	18.4	23.6	10.5	-5.3	-15.8	5.3	7.9	-2.7	10.5	-2.6	2.6	-5.3
在庫数量	製 造 業	15.8	10.6	21.1	21.1	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0	-10.5	5.3	-5.3	-10.5	-26.3
	非製造業	25.0	16.7	25.0	-16.7	0.0	-16.7	8.3	16.7	16.7	16.7	8.4	8.4	8.4	-16.6
	全 業 種	19.3	12.9	22.6	6.4	9.6	0.0	6.5	12.9	6.5	0.0	6.5	0.0	-3.2	-22.5
販売価格	製 造 業	31.6	42.1	42.1	47.4	47.4	57.9	47.4	31.5	36.8	21.0	26.3	26.3	10.5	-21.1
	非製造業	36.8	42.1	42.1	36.9	36.8	10.5	42.1	52.6	21.1	26.3	36.8	36.9	47.3	10.5
	全 業 種	34.2	42.1	42.1	42.1	42.1	34.2	44.7	42.1	28.9	23.6	31.6	31.5	28.9	-5.3
取引条件	製 造 業	-5.2	0.0	0.0	-5.2	-15.8	0.0	0.0	-5.2	-5.3	-5.2	-10.5	-5.2	-21.0	-15.8
	非製造業	-5.3	5.3	-15.8	-5.3	5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-15.8	-21.1	-15.8	-15.8	-21.1	-15.8
	全 業 種	-5.3	2.7	-7.9	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-13.8	-13.2	-10.5	-21.1	-15.8
収益状況	製 造 業	-21.0	-31.6	-36.8	-36.9	-47.3	-42.1	-42.1	-57.9	-63.2	-52.6	-52.6	-47.3	-47.3	-26.3
	非製造業	5.3	5.3	5.3	21.0	21.0	-5.3	-5.3	21.1	15.8	31.6	21.0	10.5	26.3	21.0
	全 業 種	-7.9	-13.1	-15.8	-7.9	-13.1	-23.7	-23.7	-18.4	-23.7	-10.5	-15.7	-18.4	-10.5	-2.6
資金繰り	製 造 業	-10.5	-21.1	-10.5	-5.3	-26.3	-10.5	-10.5	-15.8	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-21.1
	非製造業	10.6	-5.3	-10.5	10.6	15.8	5.3	-5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	-10.6	0.0	-10.6
	全 業 種	0.0	-13.2	-10.5	2.6	-5.2	-2.7	-7.9	-5.3	-13.2	-13.2	21.0	-26.3	-15.8	-15.8
設備操業度	製 造 業	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	21.1	-15.8	-21.1	-21.0	-31.6	-26.3
雇用人員	製 造 業	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-5.2
	非製造業	-5.3	-10.6	0.0	-5.3	0.0	-5.2	-15.8	-10.6	10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.2
	全 業 種	-5.2	-7.9	-2.6	-5.3	-5.2	-2.6	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-7.9	-13.1	-10.5	-5.3
景 況	製 造 業	-10.5	-21.0	-15.8	-15.8	-21.0	-10.5	-21.1	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6
	非製造業	10.5	-5.3	5.3	10.5	15.8	21.1	5.3	-5.2	0.0	26.3	26.3	21.1	26.3	15.8
	全 業 種	0.0	-13.1	-5.2	-2.6	-27.0	5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-7.9	-2.6	-10.5	-7.8	-7.8

情報連絡員報告総括表(令和5年6月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化					
製造業	食料品	1	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0	2	0	2	0	1	0	1	1	0	0	1	1			
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	3	0	0	2	1			
	木材・木製品	1	1	2	0	3	1	1	3	0	0	3	1	0	2	2	0	3	1	0	4	0	0	2	2				
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				
	化学ゴム																												
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1				
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	0	2	0	2	0	0	2				
	一般機器	1	2	0	0	3	0	0	2	1	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0				
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				
輸送用機器																													
その他																													
非製造業	卸売業	19	4	11	4	3	15	1	2	14	3	2	15	2	1	11	7	0	16	3	1	15	3	1	17	1	0	12	7
	小売業	100%	21.1%	57.9%	21.1%	15.8%	78.9%	5.3%	10.5%	73.7%	15.8%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%	63.2%	36.8%
	商店街	1	3	2	0	5	1	2	3	1	0	6	0	1	4	1	0	6	0					0	5	1	1	5	0
	サービス業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0					0	1	0	0	1	0
	建設業	1	2	1	1	3	0	0	4	0	0	4	0	1	3	0	0	4	0					0	4	0	1	3	0
	運輸業	2	1	2				0	4	1	0	5	0	1	2	2	0	4	1					0	4	1	2	2	1
	その他	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1					0	1	0	0	1	0
	その他	1	0	1				1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1					0	2	0	0	1	1
	その他																												
	その他	19	5	6	8	1	9	1	3	14	2	0	19	0	3	10	6	0	16	3					0	17	2	4	13
100%	26.3%	31.6%	42.1%	8.3%	75.0%	8.3%	15.8%	73.7%	10.5%	0.0%	100.0%	0.0%	15.8%	52.6%	31.6%	0.0%	84.2%	15.8%					0.0%	89.5%	10.5%	21.1%	68.4%	10.5%	
38	9	17	12	4	24	2	5	28	5	2	34	2	4	21	13	0	32	6	1	15	3	1	34	3	4	25	9		
100%	23.7%	44.7%	31.6%	12.9%	77.4%	6.5%	13.2%	73.7%	13.2%	5.3%	89.5%	5.3%	10.5%	55.3%	34.2%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	78.9%	15.8%	2.6%	89.5%	7.9%	10.5%	65.8%	23.7%		

情報連絡員報告総括表（令和5年6月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製 造 業	食料品	1	0	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	2	1	1	0	0	1	1	0	1	1
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	2	0	3	0	0	3	0
	木材・木製品	0	0	4	0	3	1	1	1	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	0	4	0	0	0	4
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0
	化学ゴム																										
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	0	2
	一般機器	2	0	1	0	3	0	1	2	0	0	1	2	0	3	2	0	1	0	0	3	0	2	1	0	2	1
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0
	輸送用機器																										
	その他																										
非 製 造 業	卸売業	3	2	1	1	4	1	3	2	1	0	5	1	2	3	1	0	6	0	0	0	0	5	1	2	4	0
	小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
	商店街	2	2	0	1	3	0	2	2	0	0	3	1	1	3	0	0	4	0	0	0	0	2	2	0	4	0
	サービス業	5	0	0			3	2	0	0	4	1	5	0	0	2	3	0				3	2	0	5	0	0
	建設業	0	1	0			1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1
	運輸業	0	1	1			1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	1	1	0	1	1
	その他																										
		19	10	7	2	2	8	1	10	8	1	0	15	4	8	3	2	15	2			3	11	5	7	10	2
	100%	52.6%	36.8%	10.5%	16.7%	66.7%	8.3%	52.6%	42.1%	5.3%	0.0%	78.9%	21.1%	42.1%	15.8%	10.5%	78.9%	10.5%				15.8%	57.9%	26.3%	36.8%	52.6%	10.5%
	38	13	13	12	3	23	4	16	17	5	1	28	9	9	16	13	4	24	10	2	9	3	28	7	8	19	11
	100%	34.2%	34.2%	31.6%	9.7%	74.2%	12.9%	42.1%	44.7%	13.2%	2.6%	73.7%	23.7%	23.7%	42.1%	34.2%	10.5%	63.2%	26.3%	10.5%	47.4%	7.9%	73.7%	18.4%	21.1%	50.0%	28.9%